

# ホタテガイ養殖管理情報

分散の遅れによる稚貝の成長悪化や異常貝増加に注意しましょう

## 1 稚貝の状況について

9月12日～30日に湾内8地点で未分散稚貝の成育状況を調査しました。測定結果は図1のとおりです。稚貝は、平均殻長が20.3～25.7mm、へい死率が2.4～16.1%、異常貝率が0～26.0%となっています。

## 2 海況

10月6日午前8時時点の陸奥湾の各ブイにおける中層(10～15m)の水温は20.6～21.2℃となっています。

## 3 稚貝分散作業時の注意点

- 稚貝の大きさが平年よりも大きいため、分散が遅れると、稚貝の成長悪化や、異常貝増加によるへい死につながるので、早めに作業を行い、遅くとも11月末までに終わらせるようにしましょう。
- また、1段当りの収容枚数が多いと同様に成長悪化やへい死につながるので、養殖方法や出荷時期に応じた適正な収容枚数(1段当り10～20枚)を心がけて作業してください。
- 速い潮によるぶつかり合いで、外套膜(ヒモ)が傷ついてへい死しないように、ネットにはオモリをつけましょう。また、潮が速い場合は、作業を控えましょう。
- 作業終了後は波浪による稚貝のぶつかり合いを防ぐために、施設を浮かせすぎないようにしましょう。

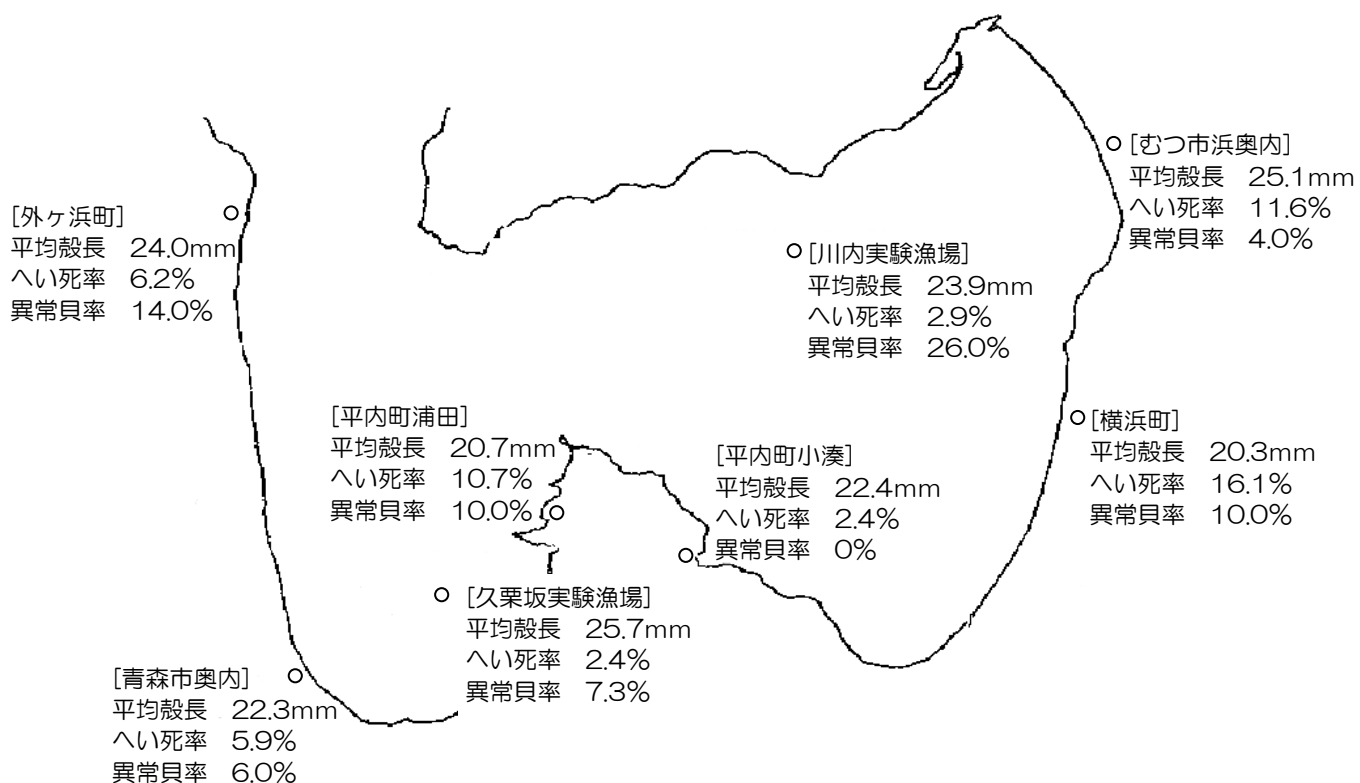


図1 各地点の未分散稚貝の成育状況

